

# 学校インターンシップを意識した「教育実習サポートノート」の構想 —管理栄養士養成課程における臨地実習を踏まえて—

萩 尾 久美子

## A Proposal for a “Teaching Practice Support Notebook” for Use in the Teaching Internship Program: Output from the Internal Practice of the Registered Dietitian Training Course

Kumiko Hagio

(2016年11月25日受理)

### 1 はじめに

学校インターンシップの教職課程における必修化を含めた議論は、平成26年7月に中央教育審議会に「これからの学校教育を担う教職員やチームとしての学校の在り方について」が諮問されたことによるものである。この中で、「教員養成・採用・研修の接続を強化しつつ、採用の前又は後に学校現場で行う実習・研修を通じて、適性を厳格に評価する仕組みの導入や、選考過程の改善を図る取組を推進するため、どのような方策が考えられるか」の視点からの検討が求められた。審議に当たっては、平成26年7月の初等中等教育分科会教員養成部会「教員の養成・採用・研修の改善に関するワーキンググループ」においてなされた論点整理等を踏まえつつ、「教員の養成・採用・研修の一体的改革」を基本とした個別論点や、「教職生涯にわたる職能成長を支える具体的な制度設計の構築」といった分野を中心に検討が重ねられた。平成27年7月の中間まとめを経て、平成27年12月に答申「これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について～学び合い、高め合う教員育成コミュニティの構築に向けて～」が取りまとめられた。この答申の中で、教員養成に関する改革の具体的な方向性として、学校インターンシップの導入は、「学生が長期間にわたり継続的に学校現場等で体験的な活動を行うことで、学校現場をより深く知ることができ、既存の教育実習と相まって、理論と実践の往還による実践的指導力の基礎の育成に有効である。また、学生がこれからの教員に求められる資質を理解し、自らの教員としての適格性を把握するための機会として

も有意義である。」<sup>[1]</sup>と説明されている。さらに、教職課程への位置づけについては、「各学校種の教職課程の実情等を踏まえ、各教職課程で一律に義務化するのではなく、各大学の判断により教職課程に位置付けられることとする。」<sup>[1]</sup>と示された。

学校インターンシップを取り巻く環境が変化してきている中、学校インターンシップに関する全国的なアンケート調査から、「学校インターンシップへの参加が教職アスピレーションを高めるとともに、学生は自身の経験を自己評価していると考えられる。」<sup>[2]</sup>という結果が得られた。そこで、学校インターンシップのねらいを意識した弾力的な運用の方途として、栄養学部栄養科学科（以下、本学科）の管理栄養士養成機関である強み（臨地実習）を生かした学校インターンシップとなるよう「教育実習サポートノート」の構想を論じることが本研究の目的である。

### 2 福岡県における学校インターンシップに類似した取り組み

学校インターンシップに先がけて実施されてきた福岡県内の二つの取り組みを紹介する。

#### (1) 福岡市教育委員会の「学生サポーター制度」<sup>[3]</sup>

学生サポーター制度とは、福岡市教育委員会と協定を締結した大学が、福岡市立の幼稚園、小中学校、高等学校、特別支援学校へ学生を派遣し、様々な教育活動の支援を行う制度で、福岡市の教育改革プログラム（平成12年～平成20年）に掲げられた「21世紀の福岡らしい教育

別刷請求先：萩尾久美子，中村学園大学栄養科学部，〒814-0198，福岡市城南区別府5-7-1

E-mail：khagio@nakamura-u.ac.jp

[1] 中央教育審議会. これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について～学び合い、高め合う教員育成コミュニティの構築に向けて～. p33. 平成27年12月21日

[2] 学校インターンシップ検討委員会. 学校インターンシップは学生のどのような力を育てているのか. 教師教育研究第29号. p22. 2016.

[3] 井元尚史. 福岡市学生サポーター制度発足の経緯と現状. 全国私立大学教職課程研究連絡協議会第30回研究大会第11分科会配付資料. 2010.

の推進」の取り組みの一つとして、平成16年度にスタートしたものである。この制度の目的は次のとおりである。

- ① 福岡市の学校教育活性化や、児童生徒に対するよりきめ細かな指導の実現を図る
- ② 大学の推進する地域連携や地域貢献の実現を図る
- ③ 大学生の資質や能力の向上を図る

参加学生は、「学習指導の補助」、「学校行事・学級活動の補助」、「教材作成・環境整備の補助」、「部活動・クラブ活動の支援」などの活動にあたるが、あくまでも、「学校教育の活性化」を第一の目的にする現場体験活動である。

**(2) 福岡県教育委員会主催「ふくおか教員養成セミナー」<sup>[4]</sup>**

この教員養成セミナーは、「福岡県の公立学校教員を目指す又は職業選択として興味を持つ学生に対し、職業としての教員の魅力や職務内容等を十分に周知し、教職に対する熱意を醸成するとともに、講話や優秀教員による模擬授業及び討議等をとおして、福岡県の魅力ある教育実践にふれる機会を提供する。」ことを目的としており、福岡県内の市町村立小学校教員を志望している3年次の学生を対象として実施されている。年間5回程度開催されている内容は、開・閉講式、講演、授業づくりに関する研究（模擬授業、講義、グループ討議等）および懇談会などであり、学校における現場体験活動を一切含まない企画である。

**3 栄養科学科における教職履修学生の学びの実態**

本学科の学生は管理栄養士の国家試験受験資格の取得に加え、希望すれば中学校・高等学校家庭科教諭（1種）と栄養教諭（1種）の二つの免許取得が可能である。但し、教職に関する授業科目は卒業に必要な単位（124単位）に含められないため、教職に進もうとすると124単位とは別に単位の取得が必要となる。これを取得するための時間割例として表したものが図1になる。本学科では、教育実習・栄養教育実習ともに4年次に位置付けているので（図2）、ここでは3年次までの時間割を示している。この時間割から分かるように、本学科の学生が空き時間を使って前述のような「学生サポーター制度」に参加するチャンスを見出せないことが分かる。長期休業

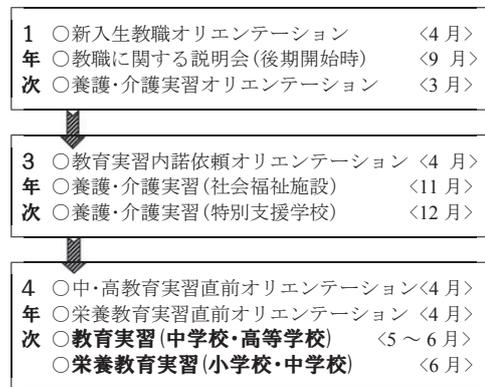


図2 平成28年度 教育実習までの流れ

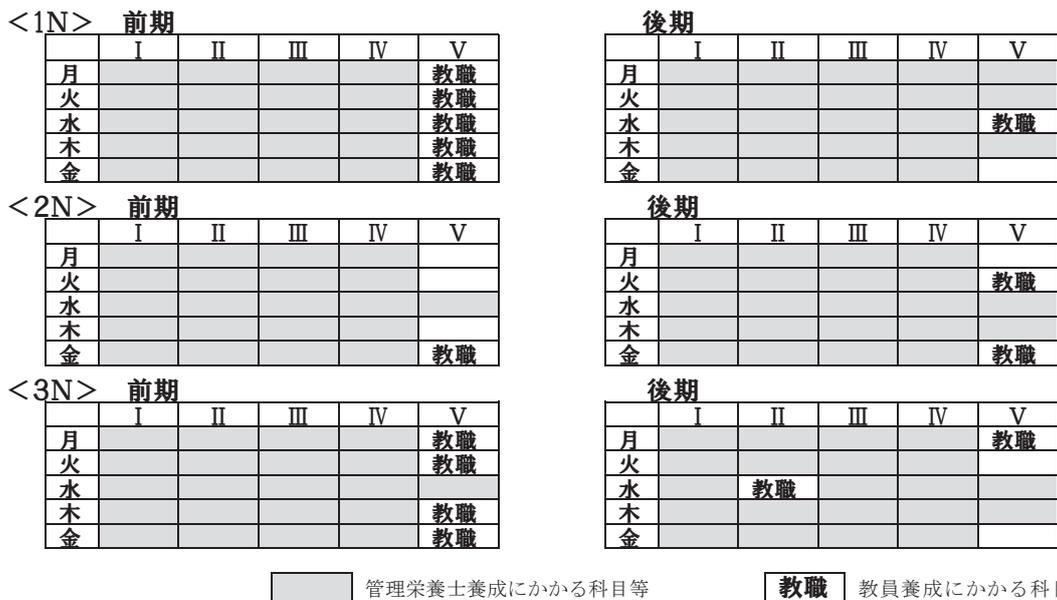


図1 栄養科学科教職を履修した場合の時間割（平成28年度の場合）

[4] 学校インターンシップ検討委員会. 松原岳行. 学校インターンシップは学生のどのような力を育てているのか. 教師教育研究第29号. p31. 2016.

中の空き時間を使って対応しようと考えても、集中講義科目が複数設定されていることから、可能性を見出すことは難しいと考える。また、「ふくおか教員養成セミナー」にいたっては、対象を小学校教員としていることから、本学科の学生は参加を希望することさえできない。

以上のような時間的制約等から、本学科では平成27年12月の中教審答申で求められている学校インターンシップを導入することには難しさがある。答申に、「各学校種の教職課程の実情などを踏まえ、各教職課程で一律に義務化するのではなく、各大学の判断により教職課程に位置付けられることとする。」<sup>[1]</sup>とあるよう、本制度の具体化の課題が示されている。

そこで、本学科の特色を生かして運用面を工夫することで、学校インターンシップのねらいに近づく方途を検討していきたいと考える。

#### 4 学校インターンシップと教育実習の違い

学校インターンシップとは、端的に言えば教職を目指す学生が参加する職業体験である。既存の教育実習と比べ、どのような違いがあるかは表1に示したとおりである。4年次の教育実習前に、生きた教育現場を体験できることは学生にとって絶好の機会であり、教員の日頃の業務や児童生徒の成長に関わることで、教職への理解を深められる。表1で示されているように、学校インターンシップでは、専任の指導教諭がいるわけではなく、学生は学校側の指示に従いながら、支援や補助業務に当た

ることになる。

#### 5 栄養科学科における学外実習の概要

本学科は管理栄養士の養成機関であることから、管理栄養士取得のためにすべての学生に臨地実習（いわゆる学外実習）が課されている。その臨地実習の概要は表2のとおりである。3年次の前期から後期にかけて、3つの実習先に合わせて3～5週間（学生の希望によって実習期間に差異あり）の日程で実習を行う。これまでも、臨地実習Ⅰにおいて、教職を履修する学生の実習先（給食管理）を小学校に限定してきたので、給食の時間の食に関する指導を経験することで教職（栄養教諭、中・高家庭科教諭）に対するモチベーションは高まっていた。

表1 学校インターンシップと教育実習の違い

	学校インターンシップ	教育実習
内容	学校における教育活動や学校行事、部活動、学校事務などの学校における活動全般について、支援や補助業務を行うことが中心	学校の教育活動について実際に教員としての職務の一部を実践させることが中心
実施期間	教育実習よりも長期間を設定（ただし、一日当たりの時間数は少ないことを想定）	4週間程度（高校の場合2週間程度）
学校の役割	学校が行う支援、補助業務の指示（教育実習のように、学生に対する指導や評価は実施しない）	実習生への指導や評価表の作成（そのための指導教員を専任し、組織的な指導体制を構築）

平成27年12月21日 中教審答申 p34

表2 栄養科学部における学外実習の概要

	学外実習	実施時期		管理栄養士養成にかかる学外実習の目的や内容など
		前期	後期	
1	臨地実習Ⅰ ＜集団給食施設(学校給食)＞	3年次		□給食栄養管理の講義で修得した知識と給食経営管理実習で体得した技術を基礎に、技術の統合を図る。教職履修者の実習先はすべて小中学校となる。
		○		
2	臨地実習Ⅱ ＜保健所等＞	3年次		□都道府県設置の保健所業務と市町村設置の保健センター業務の性格を理解し、その活動の実際と管理栄養士の活動の内容を把握する。
			○	
3	養護・介護実習 ＜社会福祉施設＞	3年次		■社会福祉施設での体験を通じ、普段接することの少ないさまざまな人の生き方や日常生活のありよう気づくとともに、人を援助すべき姿勢や人との関わり方などを体験的に学修する。 5日間
			○	
4	養護・介護実習 ＜特別支援学校＞	3年次		■特別支援学校での体験を通じ、普段接することの少ないさまざまな人の生き方や日常生活のありよう気づくとともに、人を援助すべき姿勢や人との関わり方などを体験的に学修する。 2日間
			○	
5	臨地実習Ⅱ ＜病院＞	3年次		□実践活動の場での課題発見、解決を通して、栄養評価・判定に基づく適切なマネジメントを行うために必要とされる専門的知識および技術の統合を図るために行う実習である。学内で修得した知識・技術を栄養管理の実践の場面に適用し、理論と実践を結びつけて理解する。
			○	
6	教育実習(中・高家庭科教諭)	4年次		■中学校・高等学校教諭一種免許状(家庭) 3週間
		○		
7	栄養教育実習(栄養教諭)	4年次		■栄養教諭一種免許状 1週間
		○		

□は管理栄養士養成、■は教職としての位置付け

また、3年次後期に位置付けられている養護・介護実習（中・高家庭科教諭）においてもいっそう積極的に臨むようになっていた。

そこで、これまで教職にプラスの影響をもたらしてきた臨地実習の機会を積極的に活用できないかを考察する。

## 6 臨地実習における教育実習的価値について

表2に示すように、教職を履修する学生の臨地実習Ⅰは学校現場（小学校または中学校）で実習することから、教職員はもとより事務職員や児童生徒、調理員や保護者との出会いが想定される。また、臨地実習Ⅱでは保健所や病院等で実習することから、管理栄養士をはじめに様々な専門職の方や地域住民、医師や看護師等の医療関係者等、多くの職業・年齢層の方々との出会いが想定されることになり、教師のみならず社会人としての挨拶やコミュニケーション能力を学ぶ機会となる。実際、世間で「人間力」<sup>[5]</sup>とか「社会人基礎力」<sup>[6]</sup>といわれ議論されていることを、臨地実習先であっても現実の社会として学ぶことができる。人は、新鮮な経験に触れ、感動し驚いて初めて学びたいという意欲が芽生えてくることが多いので、複数回の臨地実習は学生にとって、教育実習に出る事前研究となり、知らない世界に飛び込み様々な学ぶことで自信にもつながると考える。ただし、臨地実習にはそれぞれの授業科目の到達目標があるので、学校インターンシップのように学生が支援や補助業務に就くことは禁じ、あくまで、臨地実習先で実習している期間内に、課題意識をもって『観察する』ことを主として想定するものである。ここで言う観察は、①教育現場や保健所・病院等での営みと結果を予測し、人々の実践を観察し、自分の実践と比較する、②ほかの人の活動がどのように他者に影響を与えるかと考える、③自分の思い込みや無自覚に気付き、より実情に即した行動がとれるよう考えることである。このような研究的なものの見方をすることによって、4年次の教育実習に対して、実践的指

導力の基礎づくりにプラスの影響を及ぼすことを期待するものである。

## 7 「教育実習サポートノート」の構想

教育実習に向けての事前研究と、「自らの教員としての適格性を把握するための機会を持つ」<sup>[1]</sup>というねらいから、自分なりの到達目標を持って臨地実習に臨むことができるように学生を側面から支えるため、教育実習サポートノートを作成する。内容については、文科省委託調査<sup>[7]</sup>から初任者教員の資質能力の充足度についての校長による評価が、「やや不足している」、「とても不足している」とする割合が4割を超えた「実践的指導力」、「コミュニケーション力」、「チームで対応する力」の三つに絞ることとする。また、サポートノートの体裁は、教育実習日誌に準じ、A4版で書き込み主体の形式とする。そのイメージが分かるよう、一部を資料1、資料2に示す。なお、臨地実習が開始されるのは3年次の6月からなので、3年次の4月に実施される「教育実習内諾依頼オリエンテーション」で、サポートノートを配付し、その趣旨や活用方法等の説明をしたいと考える。学生は、臨地実習を終える度に『観察』から学んだことをまとめ、4年次の教育実習に向かうことになる。

## 8 おわりに

本稿では、管理栄養士養成機関である栄養科学科の特徴を生かして、学校インターンシップ導入の検討を視野に入れて、「教育実習サポートノート」の構想について論じた。今後の課題は、この教育実習サポートノートを学生指導の流れに位置付けるための効果的なプログラムを考え、これを生かして指導するための能動的な学修方法など十分な検討を加えることである。これまで以上に学生に積極的に関わり指導・助言することで、学生が様々な臨地実習先で得たものを振り返り、意見交換や討議をととして、学生の実践的指導力を高めていきたい。

[5] 人間力戦略研究会報告書。内閣府。平成15年4月。

[6] 社会人基礎力に関する研究会—中間取りまとめ—。経済産業省。平成18年1月。

[7] 文部科学省委託調査。教員の資質能力向上方策の見直し及び教員免許更新制の効果検証に係る調査集計結果（速報）。平成22年9月公表。

資料1 教育実習サポートノートの構想例

臨地実習 I		立 校	
実習先の学校名	平成 年 月 日( ) ~ 平成 年 月 日( )	学校	平成 年 月 日( )
実習期間			
<p>■教員に必要となる資質能力の中から基礎的なものを三つ示しています。先生方の実践を観察し、自分の行動のあり方と比較したり分析的に見たりすることで、教育の実践から学んでみよう。</p> <p><b>A 実践的指導力</b> 児童生徒を引きつける教師のパフォーマンス、児童生徒に積極的に働きかける方法、授業の導入・展開の工夫、動機付けの工夫、授業中の児童生徒の表情と読み取り、教材提示のタイミング 等々</p> <p><b>B コミュニケーション力</b></p> <p><b>C チームで対応する力</b></p> <p>自分の意見を分かりやすく伝える力、相手の意見を丁寧に聴く力、意見の違いや立場の違いを理解する力、自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力、社会のルールや人との約束を守る力、ストレスの発生源に対応する力 等々</p> <p>■研究テーマ 臨地実習 I に際して、&lt; 栄養教諭・家庭科教諭 &gt; になるに当たって、あなたが設定した事前の研究テーマを書いてみよう。</p>			
<p>■次のような場所を訪れたり、場面に会ったりした際に、観察してみよう。</p> <p><b>教室で</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子供のほめ方は</li> <li>指名の仕方は</li> <li>チャイムの守り方は</li> <li>話を聞かせる技は</li> <li>発言するときの約束</li> <li>ハンドサインは</li> <li>子供の心をとらえる言葉かけの技は</li> <li>学習マナーを定着させる技は</li> <li>先生の話し方は (立ち位置、大きさ、スピード) 等々</li> </ul> <p><b>登校の様子</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子供たちの様子は (集団登校の場合の並び方?)</li> <li>校門での挨拶は (挨拶だけが、名前を呼びながらか)</li> <li>先生方の言葉かけの具体例は</li> <li>先生方のパフォーマンスは</li> <li>校門指導をしている人は 等々</li> </ul> <p><b>廊下で</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子供たちとすれ違ったときの挨拶は</li> <li>保護者や部外者とすれ違ったときの挨拶の</li> </ul>			

資料2 教育実習サポートノートの構想例

臨地実習 II		平成 年 月 日( ) ~ 平成 年 月 日( )	
実習先の名称			
実習期間			
<p>■教員に必要となる資質能力の中から基礎的なものを三つ示しています。所内で働く方の実践を観察し、自分の行動のあり方と比較したり分析的に見たりすることで、社会の実践から学んでみよう。</p> <p><b>A 実践的指導力</b></p> <p><b>B コミュニケーション力</b> 挨拶の仕方、挨拶のタイミング、人と応対するときの表情、相手の意見を聴くときの態度や身体表現の様子、他人への働きかけ方、話題の豊富さ、話しているときの距離間 等々</p> <p><b>C チームで対応する力</b> 自分の意見を分かりやすく伝える力、相手の意見を丁寧に聴く力、意見の違いや立場の違いを理解する力、自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力、社会のルールや人との約束を守る力、ストレスの発生源に対応する力 等々</p> <p>■研究テーマ 臨地実習 II に際して、&lt; 栄養教諭・家庭科教諭 &gt; になるに当たって、あなたが設定した事前の研究テーマを書いてみよう。</p>			
<p>■次のような場所を訪れたり、場面に会ったりした際に、観察してみよう。</p> <p><b>担当部署の事務室で</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>朝の連絡会の持ち方や内容は</li> <li>服装は</li> <li>履き物は</li> <li>電話の取り方は</li> <li>電話メモの伝え方は</li> <li>来所者への応対は</li> <li>事務室内での言葉遣いは</li> <li>所員同士の呼び方は</li> <li>お茶出しのルールは</li> <li>チームで仕事をするときには 等々</li> </ul> <p><b>施設の入り口(受付)付近で</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>受付の声かけは</li> <li>声かけの様子は</li> <li>来所者への挨拶は (会釈だけなのか、挨拶をするのか)</li> <li>掲示物の分かりやすさや貼り方は</li> <li>健康に関する情報提供の仕方は 等々</li> <li>来所者の満足度は</li> </ul> <p><b>廊下で</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>所内の人とすれ違ったときの挨拶は</li> <li>来所者とすれ違ったときの挨拶の仕方は</li> </ul>			